

ななむら

第64号
発行：照来地区公民館
責任者：館長
☎ 92-1738

令和2年10月1日現在
世帯数 534世帯
人口 1,488人
(男689人、女799人)

照来の区長さんが照来の史跡を視察！

照来地区区長協議会の研修会「照来の史跡巡り」が、9月25日（金）開催されました。これは、「もっと照来のことを知ろう！」と杉岡協議会長（丹土区長）さんが、各区長さん方に呼びかけ開催されました。私もこの機会に勉強しようと思い同行させていただきました。今回は、照来地区内に伝わる「民話や伝説」の場所や史跡を巡りました。ただ、照来には史跡といった歴史的価値があると認められるものはなく、史跡ではなく遺跡といった方が正解なのかも知れません。「民話や伝説」は、実話や体験談として伝わるのですが、巡って行くうちに、本当に実話ではと思ってしまいました。今回、雨の予報でしたが始まるころには雨もあがり、スムーズに巡ることができ、これも区長さん方の日頃の精進が良いからだと思います。照来も安泰ですね！

◇照来の7集落それぞれ1箇所の視察と1箇所の説明がありました。

☆巡った場所☆

- 切畑 「こぼ岩」
- 多子 「くぐり池」
- 桐岡 「宴の清水」
- 丹土 「萬福寺鐘楼跡」
- 中辻 「一本松」
- 塩山 「出雲岩」
- 飯野 「巖山寺仁王像」

☆説明のあった史跡等☆

- 切畑 「切畑城」
- 多子 「下津谷城」
- 桐岡 「平野古墳」
- 丹土 「丹土清水」
- 中辻 「神掛山」
- 塩山 「六万坂と木戸口」
- 飯野 「巖山の地蔵菩薩」

【史跡とは】

文化財保護法では「貝塚、古墳、都城、城跡、旧宅、その他の遺跡で、我が国にとって歴史的または学術的価値の高いもの」のうち重要なものとされています。遺跡のうち、歴史的や芸術的に価値が高く、保護が必要とされる場所等を国や自治体が判断し、史跡に指定されます。残念ながら照来には、国、県、町から指定された史跡はありません。

史跡めぐり



仁王像



こぼ岩



くぐり池



宴の清水



出雲岩



一本松



鐘楼跡

照来地区公民館を試験的に開放します！

このコロナ禍の中、色んな事業が中止になりストレスも溜まっているのではないかと思います。そこで、照来地区公民館を有効利用できないか考えてみました。

とりあえず、照来地区公民館を試験的に開放してみてもどうか！と思っています。良ければ継続し日数を増やし、利用がなければ、他の方法を考えればいいのか・・・。

案としては、11月5日（木）の午前中を開放し、読書をするもよし、親しい方とお茶を飲み雑談するもよし、どうでしょうか？。気軽にぶらり立ち寄っていただいても結構ですよ！

【開放日】

11月5日（木）
午前9時～午前12時



【内容】

読書、お茶会等にご利用ください。
迷惑行為以外は特に制限はしません。

【対象者】

照来の方なら誰でも利用できます。

【その他】

コーヒー程度は準備します。

11月の事業予定

- ◆ 11月1日(日)～3日(火)
 - ・事業名：「新温泉町文化祭温泉会場」
作品展(1日～3日)
バザー・夢ふれあい宝くじ(3日のみ)
 - ・場 所：「町民センター」
- ◆ 11月17日(火) 午後7時30分～
 - ・事業名：「メディカルヨガ教室」
 - ・場 所：「照来地区公民館」
- ◆ 「ななむらうぐいす会」
残念ですが、今年度は中止とします。

お知らせコーナー

照来地区公民館の使用について

**11月8日(日)～11月15日(日)まで
作品展展示会のため使用できません!**

照来地区公民館は、11月8日(日)から11月15日(日)までの間、照来の小さな文化祭「作品展展示会」の開催及び準備に使用するため、使用できません。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

～照来の小さな文化祭～
『作品展展示会』

- 日 時：11月14日(土)
9:00～16:00
11月15日(日)
9:00～16:00
- 場 所：「照来地区公民館」
- 内 容：絵画、手芸品、工芸品、詩歌、書、
写真等の展示ほか

今年も照来小学校のご協力をいただき、児童の作品も展示します。コロナ禍で大変なときに協力をいただき本当にありがとうございます。
みなさん、是非見に来てください。

※今年は、「昔の子どもの遊び道具展」も開催します。

「レコード鑑賞コーナー」
「喫茶コーナー」もあります
よ!



照来の歴史⑱ 切畑 『こぼ岩』

「こぼ岩」は、切畑に四つありますが、切畑にしかない岩で、岩にぶつぶつとこぶがいっしょになってくっついている岩のことだと伝えられています。

一つは、「きど岩」といい、村の入口にある大きな岩のことです。

二つ目は、「あたご岩」といい、村のまん中の大きな岩(写真)で、その上に神様が祀ってあります。

三つ目は、「黒さば」又は「たての岩」といい、県道の横の階段をあがると岩があって、そこにも神様が祀られています。

四つ目は、大谷、「じゃの岩」といい、村の奥の川のそばにありましたが、今は道を広くするため、少しけずられています。この岩は、昔、洪水が起こったとき、大蛇が、切畑の岩ヶ谷というところから引っぱってきたそうですが、引っぱって来たら夜が明けて、それで岩を置いてどこかにいってしまったそうです。大蛇が引っぱって来たあとが、この岩にはっきり残っていて、「じゃの岩」と呼ぶようになったということです。(但馬・温泉町の民話と伝説より)

この「こぼ岩」は、国歌にでてくる「さざれ石」ではないかと言われていましたが、そうではなく「さざれ石」は、石灰岩(石灰質角礫岩)ですが、「こぼ岩」は、溶結凝灰岩のようです。



あたご岩